第2回「復興まちづくり計画」策定へ向けた地区別懇談会時の意見・提案に係る考え方について

令和3年7月7日(水)から7月25日(日)の期間に、第2回「復興まちづくり計画」策定へ向けた地区別懇談会を開催し、グループワークで住まい再建や緊急時における避難場所・避難経路、集落再生へ向けた取り組みなど、たくさんの意見・提案を出していただきました。ありがとうございました。

No.	校区	懇談会意見	回答
1	中谷	鹿対策など害獣対策に力を入れて下さい。	八代市鳥獣被害対策実施隊へ、一年を通して有害鳥獣捕獲許可を出しシカ等の捕獲を行ってもらっていますが、山間部の林道が昨年の豪雨により被災しており、効率的な捕獲活動ができていないようです。 今後も実施隊と連携して捕獲活動を行って参ります。 また、農産物、林産物の被害防止柵等の補助も行っておりますので、農作物は農業振興課、林産物は水産林務課へご相談ください。 タヌキ等の小動物については、捕獲用の「小型はこわな」を貸し出しております。捕獲に際し、捕獲申請書の提出が必要となりますので坂本農林水産地域事務所にご相談ください。
2	中谷	鹿による被害があるため、畑で作物が作れない。害獣対策を	八代市鳥獣被害対策実施隊へ、一年を通して有害鳥獣捕獲許可を出しシカ等の捕獲を行ってもらっていますが、山間部の林道が昨年の豪雨により被災しており、効率的な捕獲活動ができていないようです。 今後も実施隊と連携して捕獲活動を行って参ります。 また、農産物、林産物の被害防止柵等の補助も行っておりますので、農作物は農業振興課、林産物は水産林務課へご相談ください。 タヌキ等の小動物については、捕獲用の「小型はこわな」を貸し出しております。捕獲に際し、捕獲申請書の提出が必要となりますので坂本農林水産地域事務所にご相談ください。
3	中谷	唯一、坂本定住の良い所。家庭菜園が出来れば良いが、害じゅう対策が必要。鹿、猿、狸等。自費では高額である。生きがい作りが必要	八代市鳥獣被害対策実施隊へ、一年を通して有害鳥獣捕獲許可を出しシカ等の捕獲を行ってもらっていますが、山間部の林道が昨年の豪雨により被災しており、効率的な捕獲活動ができていないようです。 今後も実施隊と連携して捕獲活動を行って参ります。 また、農産物、林産物の被害防止柵等の補助も行っておりますので、農作物は農業振興課、林産物は水産林務課へご相談ください。 タヌキ等の小動物については、捕獲用の「小型はこわな」を貸し出しております。捕獲に際し、捕獲申請書の提出が必要となりますので坂本農林水産地域事務所にご相談ください。
4	中谷	集落再生の為 安全性の高い土地を作りそこに再建住宅を	―
5	中谷	災害公営住宅の早期建設	―
6	中谷	空家の活用に若い人が住んでくれる条件づくりを！	―
7	中谷	住宅再建は急がずゆっくり良考えての再建。改めて市の対応は？	R3年9月25日に輪中堤・宅地かさ上げ事業に係る説明会を開催し、宅地のかさ上げ高さのめやすを提示しました。支所の「復興まちづくり相談窓口」で閲覧することが出来ますので、自宅再建のめやすとしてください。また、「住まいの相談会」を八代市地域支え合いセンターで開催しています。「災害復興住宅融資」や各種支援制度、住宅再建の悩みなどご相談ください。
8	中谷	工事のための金銭	―
9	中谷	国の支援について被災者に寄りそった制度が必要。	―
10	中谷	再建の費用が年金生活者が多いと思う。払えるのか疑問。何割か負担でもきつい。	―
11	中谷	現在も再建のメドが立たない	―
12	中谷	資金の問題。構造の違いで公的支援が受けられない。個人で再建を試みているが技術的な問題があり、八方ふさがりである。中規模災害の申請も個人で？	罹災証明書で住家の被害程度が「半壊」のうち、中規模半壊と判定された世帯についても、被災者生活再建支援金の加算支援金の申請ができます。 修理前の写真と修理完了後の修繕箇所の写真、修理した箇所(内壁や窓・建具等)を記載した平面図、修理にかかった領収書を持参していただき、その損害割合を割り出します。そこで損害割合が過半数になった場合に、中規模半壊と判定され、加算支援金の申請ができます。鉄筋コンクリート住宅は木造住宅よりも強固な構造のため損害割合が低くなります。
13	中谷	床上浸水の補助が少なく、金銭的な問題から再建が難しい。	―
14	中谷	床上浸水で被災したが支援がない。支援があれば修繕して住める人もいる。仕事も厳しい余力ない方へもう少し支援がないと住めない。	―
15	中谷	八代市では市独自の支援金はないのですか。	対象となる罹災証明の交付を受けた世帯と、災害救助法における応急仮設住宅の供与の対象に認定された「長期避難世帯」に対し、本市独自の施策として創設した「災害見舞金」や「災害義援金」の支給を行っています。
16	中谷	再生へのメドが立たない	―
17	中谷	高齢化が進み頭が痛い。対策がない。	―
18	中谷	頭が痛い。	―
19	中谷	金銭的な支援が必要	―
20	中谷	避難者が帰って来られる気持は有っても自活は無理が有る。高齢化問題。	―
21	中谷	病院がない。	市としても、支所周辺に何らかの形で医療サービスを提供できる体制の確保がが必要と考えており、その具体的な方法について、県や八代郡医師会と協議を進めているところです。
22	中谷	公民館について再建するのに何割か補助があるが、集落の人数が少なく、全額補助がなければ再建が難しい。	被災された自治公民館の再建については、補助割合を通常の2分の1から4分の3へ引き上げた「R2年7月豪雨自治公民館再建支援事業補助金」を設けております。
23	中谷	コミュニティの場として公民館を。10月には再建2,3ヶ月に一度は集まっている。	―
24	中谷	元に戻るなら昔のコミュニティがよかった	―
25	中谷	集落再生への道は険しい。子供、若い人達の不足。	―
26	中谷	火の用心回りで安否確認。ふれあい委員活動活性化	―
27	中谷	公民館について高齢者も多く、補助があっても難しい。	―
28	中谷	山の整備をしていないので川の増水がこわい	―
29	中谷	山の整備がない	―
30	中谷	流木をきれいにとって欲しい→川遊びもできる(川原で鮎を食べる)	物理的に撤去困難な場合もありますが、引き続き撤去して参ります。
31	中谷	以前までは庭に集まり盆おどり等をやってた 馬廻（今もある）、小崎、木々子	―
32	中谷	・地蔵祭り（10月）今もやってる ・運動会、それぞれの地区 ・七夕まつり	―
33	中谷	国選択七夕網活用	―
34	中谷	盆おどり、山の神まつりなど地域の祭を復活させたい	―
35	中谷	盆おどり、川祭り、山ノ神まつり、●様地蔵様まつり。綱引き(十五夜)	―
36	中谷	七夕飾りを	―
37	中谷	行事は少なからずやっていくことが集落の維持につながる。 (自分達でやっていかないと) ボードなど水がきれいな時は子供が喜びそうな事は考える。	―
38	中谷	ワイワイパークを早く復旧してほしい	【くま川ワイワイパーク】 （遊具側） 一部立入制限はありますが、年内の開放を予定しています。 （グラウンド側） 公費解体の仮置場として12月頃まで使用の後、グラウンドの整地工事等をおこない完了後の開放を予定しています。
39	中谷	高齢者施設を作って、人、雇用を増やす	―
40	中谷	安全安心な土地を造成して貰いたい。そうする事で小さくても良い企業等を誘致できる。	―

No.	校区	懇談会意見	回答
41	中谷	子供がいなくなった。	―
42	中谷	一度出ていった方を呼び戻すことは困難。引き止めるみりょくを作る	―
43	中谷	肥後銀行はどうなるのか、具体的にはっきりさせてほしい	肥後銀行は、昨年8月から週2回移動店舗車の派遣をスタートされています。 再建に向けた協議を継続しています。
44	中谷	坂本に金融機関（郵便局・銀行）がない 特に郵便局、高齢者は年金等で必要	郵便局は、3月から車両型郵便局のサービスをスタートし、7月26日から坂本コミュニティセンター敷地内の仮店舗にて営業を再開されています。また、肥後銀行についても、昨年8月から週2回移動店舗車の派遣をスタートされています。 各関係機関と再建に向けた協議を継続しています。
45	中谷	一度郵便局仮設になってまた移すというのは不便…。	―
46	中谷	病院は？ どうなる？	―
47	中谷	支所周辺かさ上げ（3m）では危険である。昨年の水害に対応できない。	地域の皆様等から「現位置での再建」を望む声が一番多く寄せられています。 球磨川水系緊急治水プロジェクトによって水位が低下し安全性が高まることを踏まえ、より安全性を確保するため3m程度のかさ上げを実施することとしています。 従来の生活サービスの拠点であり、地域住民の皆様にとって利便性の高い“まち機能”を集約し、賑わいの再生を目指していきます。
48	中谷	JR肥薩線の早期復旧	―
49	中谷	八代迄のタクシー代が負担になる。往復で6,000＋α	―
50	中谷	谷川の多量の水を排水できる土地の整備や排水溝の整備が急務	―
51	中谷	土砂災害になるリスクを最小限にする	―
52	中谷	大林川の整備(砂防ダム側溝)	県管理河川の緊急性が高い箇所については、応急工事を完了しており、その他の県管理河川の災害復旧工事については、随時、入札手続きを行っています。御意見については、場所を確認させていただき、関係機関と協議の上、対応を検討します。
53	中谷	小崎辻、大林地区山側に防サイ壁設置	―
54	中谷	県道八代ー中津道線の全線運交	地元から御要望があることは承知しております。今後、車両通行不可能区間の整備について検討して参ります。
55	中谷	県道八代ー中津道線の全線整備	地元から御要望があることは承知しております。今後、車両通行不可能区間の整備について検討して参ります。
56	中谷	災害後の集中大雨時の水の流れの調査も要望する	―
57	中谷	県道中津道八代線を生名子部落から深水川口まで早急に造って欲しい	―
58	中谷	県道・中津道八代線を早く作ってほしい。 国道219号の整備	―
59	中谷	国道・県道の整備が必要	―
60	中谷	道路(国道219)のかさ上げ避難経路の確保	―
61	中谷	河川が少し気になる。 形が崩壊している。	―
62	中谷	谷川が普段の水量では側溝に流れるが大雨時には大量の水があふれ出て住宅地の下に流れ込んでいる。	―
63	中谷	砂防ダムの整備。流木の撤去(2次災害の防止)	―
64	中谷	住宅地の下に流れ込む水で地盤が弱くなり地すべり危険性がある	―
65	中谷	砂防工事か途切れた家(3件)に山手からの流水で床下浸水がひんぱんに発生	―
66	中谷	てっぽう水が知ってるだけで5箇所	―
67	中谷	避難用、緊急用の道路の整備してほしい。	―
68	中谷	林道の整備等で避難経路の確保	―
69	中谷	地区公民館に避難。道路〈国道〉の冠水・崖崩れ等で避難できない。 地域山門の特性で避難場所でも山崩れの必要もある。	―
70	中谷	避難しようにも、道路がつまってしまっていた。	―
71	中谷	坂本は1か所崩れたりするともうどうしようもない 道をきちんとしてほしい	―
72	中谷	集落再生の為 県道八代～中津道線の早期整備（特に深水～生名子）	―
73	中谷	中津道八代線の生名子ー深山川口地区の普通車が通れるようにしてもらいたい。県副知事の約束です。	地元から御要望があることは承知しております。今後、車両通行不可能区間の整備について検討して参ります。
74	中谷	ライフラインの早急な対応(着手)＜八代→生名子間＞	地元から御要望があることは承知しております。今後、車両通行不可能区間の整備について検討して参ります。
75	中谷	国道219号線不通の時県道中津道八代線を使いたいが県道ができない理由。	地元から御要望があることは承知しております。これまでは、急峻な地形に加え、列車が運行している横での工事となるため、ルートや工法の検討が難航していました。今後、車両通行不可能区間の整備について検討して参ります。
76	中谷	公民館について高齢者も多く、補助があっても難しい。子供がいなくなった。今後は考えないと。避難用、緊急用の道路の整備してほしい。	―
77	中谷	避難＝山の尾根づたいに行かねばいけない時（S38）があった。	―
78	中谷	避難経路(道路)が危険(山崩、土石流等)⇒改設の道路整備と拡幅＜せめて4m幅＞	―
79	中谷	地区によっては避難所は遠い	―
80	中谷	中谷校区の避難場所を青少年センターにする(下代瀬●●のぞく)	さかもと青少年センターの一部が土砂災害特別警戒区域に該当することから、避難場所として指定することが難しい状況です。
81	中谷	青少年センターが避難場所でない理由	さかもと青少年センターの一部が土砂災害特別警戒区域に該当することから、避難場所として指定することが難しい状況です。
82	中谷	緊急時の避難場所がとおすぎる八竜小では	―
83	中谷	避難所を身近な部落公民館に整備してもらいたい	地域住民が主体となり運営する「自主運営避難所」の運営ルールを策定し、物資等を供給していきたいと考えております。
84	中谷	中谷地区の避難所を安全対策をして青少年センターに	さかもと青少年センターの一部が土砂災害特別警戒区域に該当することから、避難場所として指定することが難しい状況です。
85	中谷	事前に避難場所を話しあっている(地域で)	―
86	中谷	国道は通れず部落内にて避難する	―
87	中谷	緊急時の避難は部落内で決定済み	―
88	中谷	これからも一灯苑を避難所として利用できるようにして欲しい	現在は福祉避難所として指定しています。
89	中谷	危機管理課がこの辺りで安全な避難所は坂本中学校といっていたが、第一避難所としては指定されていない。	―
90	中谷	市の指定の避難場所は現在でよいか？	―
91	中谷	体育館の有効活用。支援物資の活用を	―

No.	校区	懇談会意見	回答
92	中谷	避難経路や避難場所が(青少年●●)危険	―
93	中谷	家から逃げる(避難する)途中の道の土砂崩れが心配	―
94	中谷	9軒→4軒になった。陸の孤島になってしまうので避難場所の確認を！！(道路の高さを上げるように要望)	―
95	中谷	安全安心な土地建物がない。(一集落に安全・安心なサイトを構築して貰いたい)	―
96	中谷	219号線も今回の災害で浸かった。裏山に逃げるのが安全と地区で共通の認識ができている。	―
97	中谷	避難所として指定されている場所までの道が危険なので近くの公民館へ避難していた。	―
98	中谷	緊急時に避難すべき土地や建物がない。(自宅で耐えるしかない！)	―
99	中谷	新たに地区の避難所が必要(公民館等)食料等もそこに備蓄すると良い。	公設避難所に加え、地域住民が主体となり運営する「自主運営避難所」の運営ルールを策定し、物資等を供給していきたいと考えております。
100	中谷	寝具や食料を準備する運ぶのが困難	―
101	中谷	避難所での近隣住民とのトラブル	―
102	中谷	情報が伝わらない(常時)無線設備(アマチュア、業務用)の設置。→八竜山にレピータ設置(過去に有りました。)	―
103	中谷	ネット対策に市からの援助を！	現在進めています市内の光ブロードバンド整備は、本市が事業者へ補助を行うことで実現できました。坂本地域につきましては、R4年度のサービス開始を予定しております。
104	中谷	中谷地区ピンポイントで伝わるような情報は少ないので上流の情報等から判断する。	―
105	中谷	河と共存して水害がある前提で生活。	―
106	中谷	自主防災も含めて4地区(部落)くらいをまとめていかなければこれからは厳しい。犬の調教する方が地域に来られている。こういうものを上手く利用できれば	―
107	中谷	避難場所は土石流危険区域にあり、自宅が安全。＊過去の水害を知る必要有り。	―
108	中谷	逃げる道がない。早めのヒナンも判断が難しい	―
109	中谷	想定できず逃げる時間がなかった	―
110	中谷	備蓄の仕方。各家庭に届く様にする必要がある。＊被災時は利用できなかった。車の移動をしたものの全滅した(それ以上の高さで浸水した)	―
111	中谷	自分自身で避難行動を決めておくことが大切	―
112	中谷	近所の高齢者を説得して避難することは困難	―
113	中谷	下●●・●●地区の家（離れ）のかさ上げを	R3年9月25日に輪中堤・宅地かさ上げ事業に係る説明会を開催し、宅地のかさ上げ高さのめやすを提示しました。 坂本支所の「復興まちづくり相談窓口」で閲覧することが出来ます。
114	中谷	中谷川口地区から生女子地区の宅地のかさ上げ	―
115	中谷	宅地造成開発地は3mのかさ上げでよいのか不安	―
116	中谷	自力で谷川(与作谷)からの流水を防いでいる(与作谷の点検)自宅の床下も	―
117	中谷	老人会を拡大して(4つの集落を1つに)	―
118	中谷	4つの部落を一つの集落として再生する。そのために老人会の拡大する。	―
119	中谷	住民間のトラブル	―
120	中谷	坂本には「坂本」があることが重要	―
121	中谷	個人住宅の排水の問題。流出した為なくなった	―
122	中谷	何がどう進んでいるのか分からない。 意見は言ったものの、どうなっているのか教えて欲しい。	これまでいただいたご意見やご提案などは、庁内で情報共有をしています。ご意見につきましては、復興まちづくり計画に反映していきます。 その他ご不明な点などございましたら坂本支所の「復興まちづくり相談窓口」や復興推進課までお問い合わせください。
123	中谷	専門家の点検を頼みたい	―
124	中谷	与作谷川の上流に小うどう木が多すぎる	【与作谷川】　土石流危険渓流 現地を確認のための案内をお願いします。
125	中谷	帰りたくない恐いから	―
126	中谷	●●からの再建についてアンケート等が有るのか？実質気持を圧迫するだけで気持ちが折れる	―
127	中谷	一時的には逃げて数日待てば水位は下がる。	―
128	中谷	復興まち作り計画 まちづくり懇談会の実施 定期的な意見交換 2ヶ月に1回ぐらいに	―